氏名	奥 田 武 彦
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 869 号
学位授与の日付	昭和52年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 （学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**ラットおよびヒトにおける caveolated cell の細胞学的研究**
論文審査委員	教授 寺本 滋　教授 小川勝士　教授 妹尾左知丸

学位論文内容の要旨

ラットとヒトの caveolated cell（以下カ細胞と略）について透過および走査型電子顕微鏡的観察をし，外因性ペルオキシダーゼとピロカルピン投与にて機能面からも検討を加えた。

ラットの胆管のカ細胞は憩室部に密在し，消化管のカ細胞と比較すると多量の circular filament を有したが，straight filament の不明瞭な細胞が多かった。そして，細胞頂部の空胞様所見が従来考えられていたように caveola の集りではないことをランタンを用いて証明した。

ヒトにおいては1例の潰瘍性大腸炎の結腸にカ細胞と思われる細胞を発見した。

外因性ペルオキシダーゼの投与にてカ細胞はペルオキシダーゼの細胞内取り込み能を有した。また，ピロカルピン投与にて空胞は拡張し細胞頂部へ移行して開口分泌をおこない，これと平行してアポクリン分泌もおこなった。すなわち，カ細胞は吸収および外分泌能を有することが判明した。

論文審査の結果の要旨

本研究はラットおよびヒトの caveolated cell に関する研究であるが，胆管，消化管における本細胞の形態学的ならびに機能的研究をおこない重要な知見を得たもので価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。